ボール蹴りゲームについて

　単元の目標

(１) ボールゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めと守りによって、易しいゲームをすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識及び技能】

重点事項：　➀ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ること

　　　　　　➁ボールを操作できる位置に動くこと

　　　　　　→パスをもらう動き

(２)簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(３)運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲良く運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　【学びに向かう力、人間性等】

【メインゲームについて】

コーンの間を通っていれば、高さ関係なく1点

相手チームにカットされないようにパスをつなぐ

|  |
| --- |
| ゴール |
|  |
|  |
|  |
|  |
| スタート |

・コートは3面。1チーム５～6人の6チームで編成。

●基本ルール

・スタート地点にいる攻めのどちらかから始める。ゴールまでパスをつないでゴールまでボールを運んでいく。

・ゴールは、コーンの間を通っていれば高さ関係なく1点。

・キーパーを含め、守りは手を使ってボールをカットする。

　(ボールをはじいて攻めにボールが渡ったら攻撃を続行！)

・カットされたり、キーパーにとられたりしたらポジションをローテーションしてスタート地点からリスタートする。

・ボールがサイドラインの外に出てしまった場合は、スタート地点の子どもとキーパーがコーンの外を回って捕りに行くが、早いほうが取れる。

●実態に応じて

・単元前半は、守りは自分の好きな所にフラフープを置き、片足が入っている状態でカットする。

・試合の様子を見ながら守りのフラフープを外して解放し、難易度を上げていく。

ドリルゲーム

➀全力シュート

　ねらい：思い切りボールをける楽しさを味わう。

　やり方：目標の場所までできるだけ少ないシュート回数で行く。

➁ジグザグパスゲーム

　ねらい：・ねらったところにボールをけること

　　　　　・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ること

　　　　　・ボールを足や手で止めること

ゴール

やり方

・メインゲームのコートに縦半分に引いた線を用いて行う。

・１つの部屋に一人のプレイヤーが入り、左の図のようにパスをつないでいく。

・ボールを止めるときは手を使ってもよい。

・単元が進むにつれてカラーコーンなどの障害物を立ててもよい。

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| スタート |  |